



世界でワクチンがないために命を落とす子どもは1日4,000人*。認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会（以下JCV）は、開発途上国へワクチンを贈り、子どもたちの未来を守る活動を行う、民間の国際支援団体です。

(*WHO/UNICEF 「世界予防接種データ」 2014年2月)

人生を振り返って思うのは、色々な方に会い、有形無形の財産をいただいたということです。心から感謝しています。それを生きている間にお返しできるかどうか、いつも考えています。

今は日本人がみんな自分のことにしか興味を示さなくなっていました。でも一番大切なことは、自分がなにかを持っていたら、それを持たない人のことを思い、分かちあおうとするその心だと思います。私たちは子どものころ、当時の先進国からミルクや医薬品を援助してもらい、多くの恩恵を受けました。受けたら今度は与える。それは当たり前のことだと思います。

経済大国が貧しい国に何かしてあげるという援助ではなく、お互いで「ありがとうのキャッチボール」ができることが本当の支援だと思っています。決して傲慢にならないように「させていただく」という気持ちが大切です。

私たちは誰もがみなこの美しい地球に生まれました。ところが、その美しい地球にも残念ながら途上国や紛争地域があり、たまたまそこに生まれた子どもたちもいるのです。物も、情報も、望めば簡単に手に入れることができる日本に生まれたのも、たまたまだったということを忘れないようにしたいと思います。あらゆる面で恵まれた国に生まれた私たちにできることはいっぱいあるはずです。

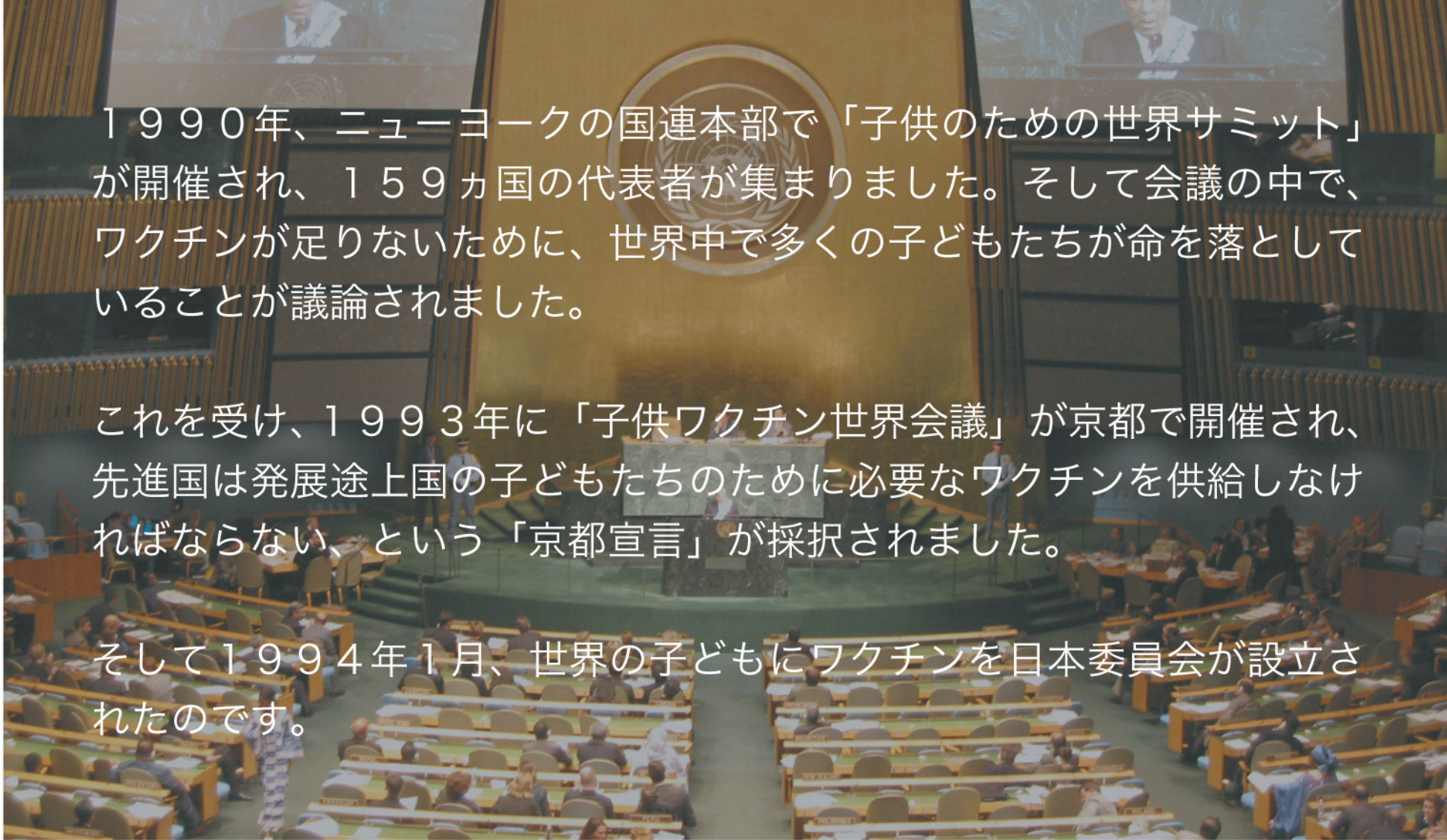
誰もが持っている、助けあう気持ちや思いやる気持ちを、勇気を持って行動に移すことが、最も大切だと思います。そうした行動の輪が広がって、社会は自然に良くなっていくのだと思います。

1994年の創設以来ずっと、この活動を続けさせていただいたことに、心から感謝しております。長くご支援くださっている皆さま、そしてこれから新たに参加してくださる皆さま、これからも「ありがとうのキャッチボール」を多くの方に知っていただき、未来へつなぐリレーを続けて行きたいと思いますので、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

会長 細川佳代子



1990年、ニューヨークの国連本部で「子供のための世界サミット」が開催され、159カ国の代表者が集まりました。そして会議の中で、ワクチンが足りないために、世界中で多くの子どもたちが命を落としていることが議論されました。

これを受け、1993年に「子供ワクチン世界会議」が京都で開催され、先進国は発展途上国の子どもたちのために必要なワクチンを供給しなければならない、という「京都宣言」が採択されました。

そして1994年1月、世界の子どもにワクチンを日本委員会が設立されたのです。

① 贈る (ワクチンの提供)

JCVでは、支援国からの要請に基づき、皆さまから寄せられたあたたかいご寄付をワクチンに換え、途上国の子どもたちに贈っています。(※支援者さまと一緒に現地視察も実施)



② 広める (ワクチンについての啓発活動)

JCVでは、感染症の実態やワクチンによる予防効果などを伝える事はもちろん、それらの活動を支える力を広げるべく、国際支援や寄付文化、ボランティア活動への理解を深めることを目指して、日本国内で様々なイベントを開催しています。



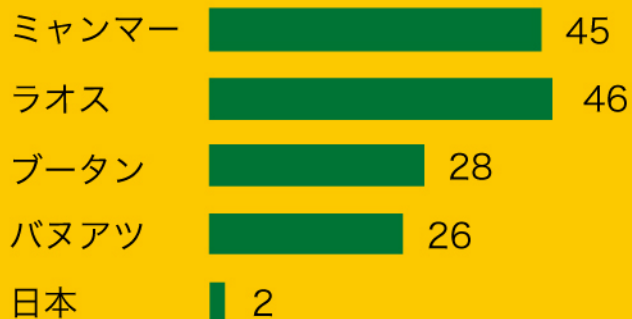
③ 未来につなげる (子どもの未来につながるその他の支援)

JCVではこれまで、ミャンマーサイクロン、東日本大震災などにおいて、子どもたちを対象とした緊急支援活動を行っています。



子どもたちの命を脅かす感染症は、定期ワクチン接種の普及により、日本での発症例は非常に少なくなりましたが、ワクチンが調達できない開発途上国では、感染者の命を奪ったり、深刻な後遺症を残したりするなど、いまだに大きな脅威となっています。また、感染症の脅威はそれだけではなく、グローバル化が進んでいる現在、国境を越えて人の健康や生命を脅かし、ひいては社会全体に深刻な悪影響を及ぼしうるのである。

<5歳未満児の死亡率> (出生 1,000 人あたりの死亡数)



JCVの支援国のひとつであるラオスの5歳未満児の死亡率は日本の20倍以上に達するなど、ワクチンの接種ができずに亡くなってしまふ子どもたちが世界にはたくさんいます。ワクチン不足は多くの開発途上国においてとても深刻な問題なのです。

(出典：UNICEF 「The State of the World's Children 2021」)





支援国と支援実績



ミャンマー

(1996年より継続支援)



[2022年支援実績]
約 2,773万円



ラオス

(2007年より継続支援)



[2022年支援実績]
約 3,286万円



ブータン

(2008年より継続支援)



[2022年支援実績]
約 2,913万円



バヌアツ

(2010年より継続支援)



[2022年支援実績]
約 2,635万円

その他の支援国



マダガスカル

2013年 … 約 1,051 万円



シリア

2013年 … 約 1,117 万円



ソマリア

2014年 … 約588万円



パキスタン

2015年 … 約 1,039万円

ワクチンの価格 (1 人分)

ポリオ (小児まひ)	MMR (はしか、おたふくかぜ、風疹)	BCG (結核)	MR (はしか、風疹)	DPT(3種混合) (ジフテリア、百日咳、破傷風)	五価ワクチン (DPT+B型肝炎+Hib)
約 20 円	約 225 円	約 25 円	約 105 円	約 25 円	約 160 円

1USドル=138.66円 / 2022年12月時点 (金額は為替レートなどの影響により毎年変動します)

例えば、100 円で 5 人の子どもをポリオから守ることができます

1,000 円	ポリオワクチン 50 人分 を贈ることができます。	
3,000 円	BCG(結核)ワクチン 120 人分 を贈ることができます。	
5,000 円	DPT(3種混合)ワクチン 200 人分を贈ることができます。	

毎日生まれてくる子どもたちを感染症から守るためには、
継続的かつ安定的な支援が必要です。

寄付がワクチンに換わるまで

STEP 1



あなたの寄付

JCVに寄付が届く

STEP 2



UNICEFと連携

支援国や地域を指定し
UNICEFと連携してワクチンや関連機器を支援国へ供与

STEP 3



現地の医療スタッフにより
地方の保冷库へ



まず支援国の中央保冷库へ



支援を受ける国々



温度管理しながら、船、トラック、自転車、場所によっては徒歩でワクチン接種会場へ運搬

STEP 4



各地のワクチン接種会場へ



FINAL STEP



スペシャルサポーター

JCVの子どもワクチン支援活動にご賛同・ご支援いただいています



竹下 景子さん
ワクチン大使・女優



和田 毅さん
プロ野球選手



早見 優さん
歌手・女優



三國 清三さん
オテル・ドゥ・ミクニ・オーナーシェフ



進藤 奈邦子さん
WHOメディカルオフィサー



鏡 リュウジさん
翻訳家・心理占星術研究者



安藤 優子さん
ジャーナリスト



キャップ革命 ボトルマン

- 団体名 : 認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会
(英文) Japan Committee, Vaccines for the World's Children
- 住所 : 〒108-0073 東京都港区三田 4-1-9 三田ヒルサイドビル 8F
- 連絡先 : (TEL) 03-5419-1081 / (FAX) 03-5419-1082 / (E-mail) info@jcv-jp.org
(URL) <https://www.jcv-jp.org>
- 沿革 : 1994 年 1 月 29 日 設立 / 2002 年 10 月 15 日 NPO 法人格取得 /
2006 年 7 月 1 日 認定 NPO 法人として認可 (2024 年 6 月 19 日まで継続して取得済)
- 目的 : I. 海外支援活動 (予防可能な感染症に対するワクチン及び関連物資の支援)
II. 国内啓発活動 (ボランティア活動の支援と促進)
- 支援実績 : 2022 年 (約 1 億 1,607 万円) / 2021 年 (約 1 億 1,642 万円) / 2020 年 (約 1 億 1,115 万円) / 2019 年 (約 1 億 1,566 万円)
- スポンサー : (ゴールド) ピーアークホールディングス (株)
(シルバー) (株) 柴橋商会 / 東武トップツアーズ (株) / ラサ商事 (株)
(ブロンズ) (株) 岡三証券グループ / 三井住友海上あいおい生命保険 (株) / (株) ニッソウ
- 役員 : 理事 10 名 (内常務理事 1 名)、監事 3 名
- スタッフ : 常勤スタッフ 4 名、パートタイムスタッフ 3 名

役員構成	会長	細川 佳代子	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 名誉会長
	理事長	劔持 睦子	認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川 会長
	副理事長	早水 研	公益財団法人日本ユニセフ協会 専務理事
	常務理事	奥寺 憲徳	JCV 事務局長
	理事	蒲島 郁夫	熊本県知事
	理事	藤森 益弘	作家、CM プロデューサー、帝京大学客員教授
	理事	四藤 豊貴	株式会社日本デザインセンター インタラクティブデザイン室 前室長
	理事	櫻田 紳策	株式会社メディカルアシスト クリニカルメディスン 管理者・指導医
	理事	酒井 綱一郎	株式会社日経経済新聞社 客員
	理事	本田 涼子	日本プレイセラピー協会 代表
	監事	松田 明仁	ITC ジャパン株式会社 前代表取締役会長
	監事	西邨 博行	西邨税理士事務所
	監事	東園 健一	税理士、A.L.C.S. 総合事務所

(2023年1月現在)

ワクチン支援にご協力ください